



28

2022.10.1

東大阪大学・東大阪大学短期大学部附属図書館

たまみが
玉琢かざれば器を成さず
玉不琢不成器 [礼記、学記]

天然の美質をもった玉も、磨いたり、細工を加えたりしなければ、器物としての役に立たない。転じて、すぐれた素質をもっている人でも、学問修養に努めなければ、立派な人物にはなれないというたとえ。



研究室訪問



国際教養こども学科 講師
山本 緑

芸術大学出身でアジアの芸術文化が専門です。南アジアの芸術文化を学ぶため、インドの首都ニューデリーに在住していました。日印ビジネスに関わった経験もあることから、本学では主に海外での経験を活かした授業を担当しています。東大阪大学は留学生が多いので、毎日いろいろな価値観に出会えて刺激を受けています。

趣味は古本屋巡りですが、最近はネット書店を多く利用します。なるべく本が増えないように、今はできるだけ電子書籍を選ぶようにしています。

「学生にぜひ読んでもらいたい本は、パク・ヨンミ『生きるための選択』―少女は13歳のとき、脱北することを決意して川を渡った』です。13歳で北朝鮮から亡命した著者のTEDでの英語スピーチも一緒に聞いてほしいです。

「読書について、学生へのアドバイスをお願いします。大学図書館の入口で紹介されている本の選択はとてもいいので、ぜひ注目してみてください!」

「最近買った本は?」「在日コリアンの歴史を歩く」です。今年の集中講義の準備に購入しました。生野区のコリアンタウンにはよく行きますが、この本を持って一度歩いてみたいと思っています。

「好きなジャンルは?」「もし蔵書の中から一冊だけ選ぶなら、どの本を選びますか。その理由は?」1893年シカゴ万博で開催された第一次世界宗教者会議の『シカゴ講演集』です。東洋と西洋の宗教が初めて出会った時代の生きた言葉を感じることができます。

「時々読み直す本はあるでしょうか。」

1893年シカゴ万博で開催された第一次世界宗教者会議の『シカゴ講演集』です。

東洋と西洋の宗教が初めて出会った時代の生きた言葉を感じることができます。

「読み直す本はあるでしょうか。」

1893年シカゴ万博で開催された第一次世界宗教者会議の『シカゴ講演集』です。

東洋と西洋の宗教が初めて出会った時代の生きた言葉を感じることができます。

「好きなジャンルは?」「一本を買う時、ネット書店と本屋どちらをより多くご利用でしょうか。」

以前は文学が好きでしたが、最近は社会の深層や世界の真実に迫るノンフィクションをよく読んでいます。



読書と信念

介護福祉学科教授 馬込 武志

自宅の本棚を眺めてみると、経済小説のパイオニアである城山三郎の本が多い。城山の作品のなかでも、企業の創成期からどのような苦労を経て、大企業になつていったかといふ一連の企業小説とでもいうべき作品がお気に入りだ。これらは高校生時代によく読んだ。

特に覚えてるのは『臨3311に乗れ』(近畿日本ツーリスト)、『盲人重役』(島原鉄道)、『零から栄光』(川西航空機→新明和工業)、『百戦百勝』(ヤマタネ)、『男たちの経営』(花王)などである。

いずれもアイデアとバイタリティで会社の危機を救い、さらに会社が発展していくという明快なストーリーだ。そこに描かれているのは、経営者や経済人としての「信念」である。

特に『盲人重役』は思い出深い。テレビドラマにもなった作品で、もちろん、ドラマも視聴した。バス事業での

大手のライバル社をアイデアだけで出し抜いたり、天皇行幸に際してのレール取り換えを努力と粘り強さで実現させたりする。まさに痛快だ。

いかに信念が大切か。もちろん、信念だけではダメだろうが、信念が無ければ何も起こらない。その信念の大切さは城山の作品から吸収したように思う。

もう一つ忘れてならないのが、宮脇俊三だ。鉄道好きもあって、紀行作家の宮脇俊三の作品はよく読んだ。特に印象深いのが『時刻表おくほそ道』である。これは、宮脇が出版社の編集者と地方鉄道を乗り歩きする話だ。なかでも、北海道の夕張へ行った話の語り口が好きだ。

編集者と夜、夕張市内で酒場をはしごするが、その時感じた東京との経済格差や地元の人にとって榮えていたころの思い出を大切にしているということを決して直接述べない。

支払いの安さに驚いたことや廃線になつた鉄道の記念乗車券をスナックでもらつたという事実でそれを語る。もちろん、宮脇が控えめな性格であつたということもあるとは思うが、押しつけがましくない。

さらに、台湾の鉄道の全線完乗をテーマにした『台湾鉄路千公里』などでは、台湾のローカル線の終点で初老の台湾人男性(実は宮脇と同じ年だった)と出会う。

この初老の男性が、日本語で話しゃべてくることや(昭和)天皇が存命かどうか、またその息子が平民(ママ)の嫁をもらったことを残念がっていた。ということを淡々と述べ

授業において、信念を持つて説明をするものの、「…と私は思いました」と語っているのは、今までの読書の影響なのかも知れない。




さらに、台湾の鉄道の全線完乗をテーマにした『台湾鉄路千公里』などでは、台湾のローカル線の終点で初老の台湾人男性(実は宮脇と同じ年だった)と出会う。

この初老の男性が、日本語で話しゃべてくることや(昭和)天皇が存命かどうか、またその息子が平民(ママ)の嫁をもらったことを残念がっていた。ということを淡々と述べ

2022年度 図書館開催イベント

学生Web選書 〔2022年度 前期〕

2022年6月13日(月)～7月8日(金)の期間、学生Web選書を開催しました。

今回もコロナ禍での開催となり、Webサイトを利用した選書を行いました。学生15人の参加があり、各々パソコンやスマートを使い読みたい本を選びました。

今回選ばれた図書(91冊)は、図書館1階閲覧室の「学生選書コーナー」に並んでいます。貸し出しもできますのでぜひ皆さんご利用ください。



絵本展示コーナーのご案内

図書館1階の閲覧室では、季節に応じた図書館所蔵の絵本を紹介する展示スペースを設けています。

例えば、6月には「雨」や「おかあさん」をテーマにした14冊の絵本を展示。そして、7月には人気作家のヨシタケシンスケさん著作の絵本・書籍30冊を展示しました。

今後も学生の皆さんに読んでいただきたい絵本や作家さんの紹介をさせていただきますので、1階閲覧室の絵本を見に来てくださいね。



図書館イベントのご案内

- 学生Web選書〔2022年度 後期〕
令和4年11月に開催を予定しています。

- 読書感想文コンクール
ただいま募集中です。締切は、令和4年12月23日(金)までです。ご応募お待ちしています。

- 手作り絵本
ただいま募集中です。締切は、令和4年10月31日(月)までです。ご応募お待ちしています。

- 絵本展示コーナー
図書館1階の閲覧室に展示しています。次の企画を計画中です。展示している絵本はもちろん貸し出し可能です。

リサイクルブック

図書館では、毎年、保存期間を終了した雑誌を「リサイクルブック」として学生の皆さんにお譲りしています。

今年度は2019年に発刊された約500冊の雑誌が対象です。展示期間中、多くの学生さんに見ていただき、気に入った雑誌を持ち帰っていただきました。

「リサイクルブック」は年に1度、開催しています。来年のリサイクルブック開催をお楽しみに♪



野崎 之暢 准教授 共著

『子どもの姿からはじめる 領域・人間関係』

著者: 野崎 之暢(秋田 喜代美・

三宅 茂夫 監修 11名による共著)

出版: みらい、2022年3月、

2,100円(税抜)

「第一部 領域『人間関係』に関する専門的事項」と「第二部 保育内容『人間関係』の指導法」の二部構成からなる本書は、「子どもを学ぶ・子どもから学ぶ」「子どもから考える・子どものために考える」をキーワードに、豊富な事例を挙げながら、子どもの心の発達について解説する。保育士養成課程「領域・人間関係」に対応。各章に「学びのめあて」と「演習課題」がある。



(請求記号 376.153/Ko21)

山田 克宏 助教 共著

『相談援助演習 社会福祉士シリーズ21』 (第4版)

著者: 山田 克宏(谷川 和昭・柳澤 孝主
責任編集 27名による共著)

出版: 弘文堂、2020年2月、2,500円(税抜)

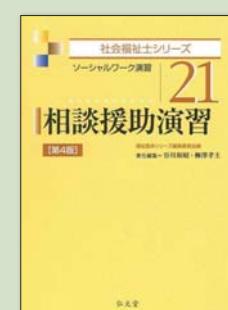
序章「ソーシャルワークの実践とはどのようなことか」、第一章「相談援助演習の意義」、第二章「相談援助の共通基盤」、第三章「相談援助の方法」、第四章「総合的・包括的な相談援助」、第五章「地域福祉と相談援助」、第六章「演習・実習体験から学ぶ相談援助」、第七章「ソーシャルワーク・マインドの実践」と第八章「相談援助演習と体験学習の意味」からなる本書は、「社会福祉士としての相談援助の実践力を養い適性を形成することを目標にした新たな体系書である」という。ソーシャルワークを強く意識し、社会福祉士に求められる「相談援助」にかかる知識と技術を詳しく説明する。

編集・発行

2022年10月1日発行

第28号

登竜門



(請求記号 369.17/So15)

大阪府東大阪市西堤学園町3-1-1
TEL 06-6782-2837
FAX 06-6782-2839
<http://www.higashiosaka.ac.jp/library/>

趙 夢雲 教授 単著

『戦後上海における 対日宣伝機関とその刊行物 解題・細目』

著者: 趙 夢雲(解題・編)

出版: ゆまに書房、2022年2月、12,000円(税抜)

戦後発行された「改造日報」「改造日報 児童新聞」「改造週報」「改造評論」「新生」「導報月刊」「日本論壇」「改造雑誌」「改造論壇」「亞洲世紀」「改造画報」等現在通覧が困難な紙誌の記事題目を最大限に採録し、日本と中国の関係者による回想や、上海市檔案館(公文書館)の資料を引用しながら、上記紙誌の発行経緯及び戦後国民政府の対日施策等を詳細に分析する。

主題字

戦後上海における
対日宣伝機関とその刊行物

解題・細目

(請求記号 027.5/C52)

趙 夢雲 教授 共著

『上海文学 全五号復刻版』

著者: 木田 隆文・趙 夢雲(解題・編)

出版: 琥珀書房、2022年7月、
32,000円(税抜)

上海文学研究会によって創刊された雑誌『上海文学』全五号の復刻版。戦時下上海の日中文化人の動向と文学活動の実態を、現地文学同人誌『上海文学』を考察することで把握することができる。同時に、上海文壇の多様性と多義性を改めて認識することも可能である。また、その作業によって戦争末期の「外地文学」の空白部を埋めていくことも期待される。

文學上海

(請求記号 910.26/Sh12)

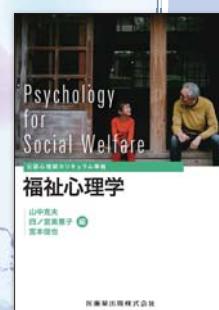
野口 代 准教授 共著

『公認心理師カリキュラム 準拠 福祉心理学』

著者: 野口 代(山中 克夫・
四ノ宮 美恵子・宮本 信也 編
25名による共著)

出版: 医歯薬出版株式会社、
2022年1月、3,300円(税抜)

公認心理師カリキュラムに準拠した新しいテキストである。児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉など各領域における公認心理師の役割と知識を、支援の特徴に触れながら説明し、心理的支援の重要性を強調する。また、福祉関連の法制度の解説も充実していて、臨床における問題対応能力と技能を如何に身につけるべきか、公認心理師を目指す学生に興味を持って学ばせる工夫も随所に見られる。



(請求記号 369/F84)